

平成14年度補正予算 参考資料

平成14年度補正予算のポイント

ページ

1) 安全・安心な地域づくり(災害対策の推進)

阿賀野川 ^{あがの} 横越 ^{よこご} 地区水衝部対策事業【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
阿賀野川水系阿賀野川：新潟県横越町	…P1
郷本川 ^{ごうもとがわ} 広域基幹河川改修事業(補助)【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
郷本川水系郷本川：新潟県三島郡和島村	…P2
親不知 ^{おやしらす} 防災 防災工事 ^{にしくびき} の推進【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
一般国道8号：新潟県西頸城郡青海町	…P3
新潟港海岸(西海岸地区)の整備推進【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
新潟港海岸：新潟県新潟市	…P4
I Tを駆使した情報防災の推進【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
常願寺川ほか4河川：富山県富山市ほか	…P5
現場発生材を有効活用した砂防事業の促進(スゴ谷砂防えん堤群)【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
立山砂防：富山県大山町	…P6
梯川 ^{かげほしがわ} 小松地区改修【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
梯川水系梯川：石川県小松市	…P7
小松海岸侵食対策事業(補助)【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
小松海岸：石川県小松市	…P8
スーパー暗渠砂防えん堤の整備推進(地獄平砂防えん堤)【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
神通川水系砂防：岐阜県上宝村	…P9
阿賀川支川 ^{あががわ} 濁川改修【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
阿賀野川水系阿賀川：福島県喜多方市	…P10
土石流対策の推進(浦川第7号砂防えん堤の完成)【切迫する大災害への対策の緊急強化】	
松本砂防：長野県白馬村	…P11
荒川流路工魚道整備【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
飯豊山系荒川：山形県小国町	…P12
敦賀港海岸(松原地区)の整備推進【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
敦賀港海岸：福井県敦賀市	…P13

2) 広域的連携交流・活力ある地域づくり(外との交流・内なる連携の推進)

瀬波 ^{せなみ} バイパスの整備推進【地域経済活性化による都市・地域の再生】	
一般国道345号：新潟県村上 ^{むらかみ} 市	…P14
富山高岡連絡道路 富山高岡バイパス(下田交差点立体化)の整備推進【地域経済活性化による都市・地域の再生】	
一般国道8号：富山県高岡市	…P15
臨港道路(東西線)の整備推進【国際競争力のある都市の再生】	
伏木富山港：富山県新湊市	…P16
魚津港 ^{うおづ} 拡張整備の推進【地域経済活性化による都市・地域の再生】	
魚津港：富山県魚津市	…P17
松任宇ノ気 ^{まつとうのけ} 線の整備促進【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
主要地方道松任宇ノ気線：石川県金沢市	…P18

航路泊地(-10m)の拡幅整備推進【地域経済活性化による都市・地域の再生】	
金沢港：石川県金沢市	...P19
旅客船ターミナルの整備推進【地域経済活性化による都市・地域の再生】	
七尾港：石川県七尾市	...P20
多目的国際ターミナルの整備推進【地域経済活性化による都市・地域の再生】	
敦賀港：福井県敦賀市	...P21
3) 美しさと文化の香りがする地域づくり(暮らしやすい住環境の整備)	
^{ばんだいじま} 万代島再開発事業の整備推進【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
新潟港：新潟県新潟市	...P22
「健康ゾーン」の概成【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
国営越後丘陵公園：新潟県長岡市	...P23
^{せんぼがわ} 千保川の河川環境整備の完成(補助)【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
小矢部川水系千保川：富山県高岡市	...P24
^{じょうはな} 城端 拡幅の整備推進【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
一般国道304号：富山県 ^{ひがしとнами} 砺波郡城端町	...P25
^{ふしみばし} 伏見橋電線共同溝の着手【地球環境から身近な生活環境までの創造・回復】	
一般国道157号：石川県金沢市	...P26

横越地区水衝部対策の概成

～ 県都新潟市を洪水被害から守る～

阿賀野川水系阿賀野川（新潟県中蒲原郡横越町）

1. 事業の概要

1) 目的

阿賀野川水系阿賀野川の河道は、全国でも類を見ない大きな湾曲部が続いており、特に横越地区の水衝部では堤防に近接した箇所で大規模に深掘れしており、特に洪水時の堤防の安全性が低下しています。さらに、本地区の氾濫域には人口、資産等が集中している新潟市が存在し、破堤時には甚大な被害が予想されることから、水衝部対策を実施します。

2) 全体計画

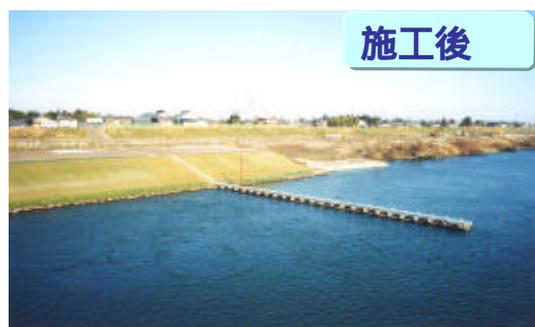
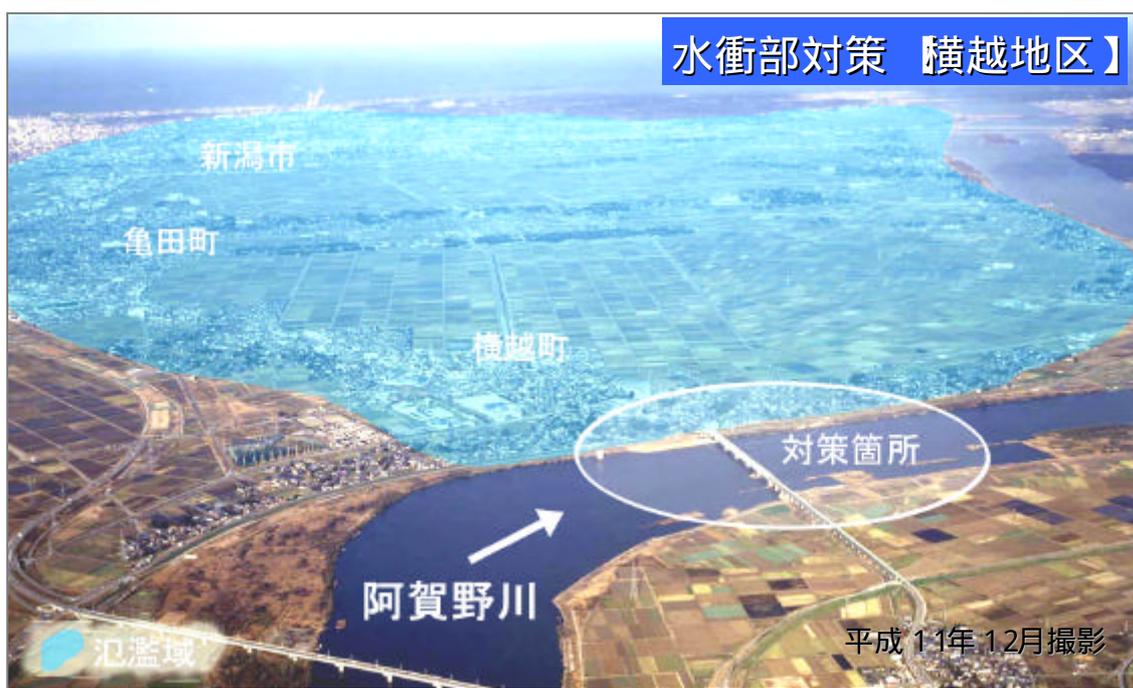
護岸工 水制工 高水敷掘削 埋戻し工 等

2. 事業の経緯

平成7年度から深掘れの解消とともに水衝部の緩和を図るための水衝部対策を実施してきており、平成14年度補正予算にて概成予定です。

3. 平成14年度補正予算の内容

護岸工を実施し、本地区の水衝部対策の概成を図ります。



郷本川ごうもとがわにおける再度災害防止対策

郷本川広域基幹河川改修事業（補助）の推進（新潟県和島村）

1．事業の目的

郷本川の中流部に位置する島崎・小島地区は、過去数回にわたり浸水被害を受けてきました。特に昭和53年6月26日の梅雨前線による出水では、浸水面積386ha、床上浸水24戸、床下浸水272戸の甚大な被害を被っています。

また、平成14年7月10日の台風6号においても、20haの浸水被害を受けており、地域住民より早急な河川改修が望まれています。

このため、ネック部である志戸橋から新川橋までの区間の治水安全度を上げるべく、築堤、掘削等の整備を行い、再度災害の防止対策を促進します。

2．全体計画

改修延長 L = 7,315m

3．平成14年度補正予算の内容

築堤(地盤改良) L = 200m



- 和島村における浸水状況 -
(昭和53年6月26日)

一般国道 8 号 親不知防災の整備推進

新潟県西頸城郡青海町

1. 事業の概要

親不知防災は、一般国道 8 号の青海町地内の事前通行規制区間（連続雨量 120、150、180 mm）の解消を目的とした、新潟県西頸城郡青海町青海から同郡同町玉ノ木に至る延長 14.3 km の防災事業です。

2. 事業の経緯

昭和 43 年度に事業着手し、平成 9 年度迄に洞門約 3.7 km、スノーシェットの補強約 1.1 km を完成しています。

また、平成 10 年度までに「トンネル坑口緊急点検」及び「岩盤斜面等の緊急調査」の結果に基づき、岩盤斜面对策及び法面对策等の防災対策を実施するとともに、風波地区の延長約 4.0 km について、抜本対策として別線ルートを検討を行ってきたところです。

3. 平成 14 年度補正予算の内容

交通規制区間の早期緩和に向け、勝山地区、三段滝地区等で防災工事を推進します。



急峻な地形を通過する一般国道 8 号親不知地区

新潟港海岸（西海岸地区）の整備推進

新潟港：新潟県新潟市

1. 事業の概要

新潟港海岸（西海岸地区）は、著しい侵食傾向にある海岸であったことから、侵食対策工事が行われてきました。しかし、日本海側特有の冬季風浪により施設前面の海底が侵食され崩壊の可能性があったことから、恒久的な対策と併せて快適で潤いのある海岸環境の創出が可能となる「面的防護工法」により整備を行っています。

2. 事業の経緯

新潟港海岸（西海岸地区）は、大規模な面的防護工法の先駆として昭和61年度より直轄による侵食対策事業に着手して以来、「国土保全」という観点から着々と整備が進んでいます。一方、市民からは過去に失われた白砂青松を蘇らせて「憩いの場としての海岸」を創出することが強く求められており、「ふるさと海岸整備事業」として快適な海岸空間の創出に向けて事業を進めており、平成28年の完成を目指しています。

3. 平成14年度補正予算の内容

補正予算により突堤を整備し、事業の推進を図ります。



新潟港海岸（西海岸地区）イメージパース

ITを駆使した情報防災の推進

～情報共有化と迅速な防災対策 - 「防災ネット富山」の構築～

常願寺川ほか4河川（富山県富山市ほか）

1. 事業の概要

1) 目的

富山県内には常願寺川をはじめとする日本有数の急流河川が存在し、洪水は上流山間地域から短時間で人口、資産が集中している下流平野部に到達し、過去に甚大な被害をもたらしています。また、近年では局所的な集中豪雨による市街地の浸水(都市型水害)も発生しており、迅速かつ確かな防災情報の収集及び提供が必要となっております。

このため、富山県内常願寺川ほか4河川において、光ファイバーやCCTV等を活用した洪水時の情報収集を行い、県、市町村とも接続、連携することで防災情報の共有化を図り、地域に密着した防災体制を確立します。

2) 全体計画

常願寺川、神通川、庄川、小矢部川、黒部川の直轄管理区間に光ファイバーを敷設し、CCTVや各種観測機器等を設置し、また自治体と接続、連携することで、洪水時等の富山県内河川流域の情報収集や情報提供が可能とします。

2. 事業の経緯

平成10年度より光ファイバー等のITによる防災基盤整備に着手しています。

3. 平成14年度補正予算の内容

常願寺川ほか4河川において光ファイバー、CCTV等の整備を行い、また沿川自治体との接続も併せて実施することで、富山県内の防災情報の共有化が図られ、迅速かつ確かな情報収集、提供が可能となります。



現場発生材を有効活用した砂防事業の促進

新工法を用いた床固工の整備

～ 富山^{なかにいかわくん}県中新川郡大山町^{ありみね}有峰 ～

1. 事業の目的

1) 目的

常願寺川上流の真川右支川スゴ谷には既設砂防えん堤が2基完成しているが、年々河床低下を続けており、平成10年8月出水により河床が異常洗掘し、えん堤が被災している。

このため、河床固定と縦断勾配の維持を目的として床固工群に着手しました。

スゴ谷砂防えん堤の床固工事では、現地で発生する掘削残土を有効活用し、運搬費や処理費に係るコストの縮減、施工の合理化・省人化を図る新工法として現位置^{げんいちかくはんこんこうこか}攪拌混合固化工法（ISM工法）による事業を推進します。

ISM工法は、現地で発生した掘削残土を処分せずに現位置にて骨材としてセメントミルクと攪拌混合して、コンクリート基礎や構造体を構築する効率的で環境に配慮した新工法です。

2) 全体計画

事業計画：第2副えん堤 1基、床固工 5基

2. 事業の経緯

平成11年度 スゴ谷第1号砂防えん堤第2副えん堤に着手

平成13年度 スゴ谷第1号砂防えん堤第2副えん堤完成

平成13年度 床固工に着手（ISM工法による施工）

3. 平成14年度補正予算の内容

4基（第1号床固から第4号床固）の床固工の袖部及び堤体の整備を推進します。



砂礫とセメントミルクの攪拌状況



攪拌混合機（ツインヘッド）

かけはし
梯川重点区間改修事業の促進
～大規模引堤による治水安全度の向上～
かけはし かけはし
梯川水系 梯川（石川県小松市）

1. 事業の概要

1) 目的

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。

このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している1.0km～6.0km迄を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。

また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

2) 全体計画

築堤、旧堤撤去、橋梁架替、分水路整備 等

2. 事業の経緯

平成8年度の着手以降、河川改修に必要な用地取得、補償や引堤による堤防整備を実施しています。

3. 平成14年度補正予算の内容

引き続き重点改修区間である小松地区の堤防整備（引堤）等を実施します。



冬期風浪等による海岸侵食対策の推進

小松海岸侵食対策事業(補助)(石川県小松市)

1. 事業の目的

小松海岸は、加越海岸の南部に位置し、背後には北陸自動車道及び日本海側唯一の国際空港がひかえています。しかし当海岸は冬期風浪をまともに受ける海岸であり、護岸が決壊するなど過去に幾度となく施設被害を受けており、背後地が大変危険な状況となっています。

そこで、当海岸では、H13災害復旧事業による護岸工や消波工と併せて、離岸堤、人工リーフ等の消波施設を整備することによって、安全で人々の生活に潤いをもたらす、快適性や利便性に配慮した白砂青松が続く海岸を創出するものです。

2. 全体計画

改修延長 L = 820m

人工リーフ2基(180m×2)、離岸堤2基(150m×2)

3. 平成14年度補正予算の内容

離岸堤の施工延伸 L = 約60m



- 小松海岸の現状 -

自然景観との調和を図ったスーパー暗渠砂防えん堤

地獄平砂防えん堤の整備 ～ 岐阜県吉城郡上宝村神坂 ～

1. 事業の目的

1) 目的

神通川水系蒲田川は、槍ヶ岳など3,000m級の山々が連なる北アルプスに源を發する河川です。えん堤位置より上流の各支溪は荒廢が著しく、大出水時には多量の土砂流出により下流の新穂高温泉や栃尾温泉などに大きな被害を及ぼすおそれがあることから砂防えん堤を整備し、被害を軽減するものです。

当えん堤の機能の特徴として平常時は土砂を下流に流下させ河床低下を防ぎ、洪水時には土砂を捕捉・調節する大暗渠を有し、河川の連続性を妨げず生態系の保全も図られています。また、えん堤の基礎部は現地発生土とセメントを混合した「CSG工法」で施工されておりコスト縮減が図られています。

2) 全体計画

事業計画：砂防えん堤1基（高さ14.5m、長さ166.8m）
護岸工1式

2. 事業の経緯

平成9,10年度水理模型実験を実施。

平成10年度えん堤本体着手

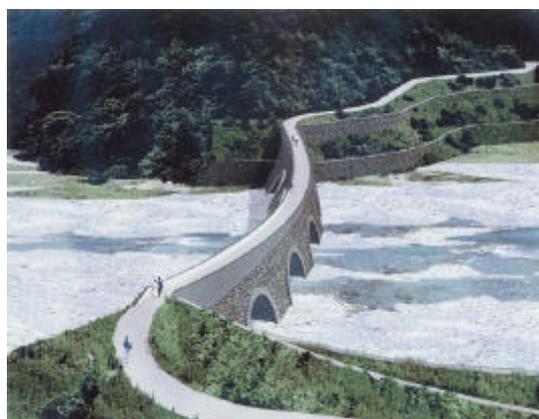
平成14年度えん堤本体完成

3. 平成14年度補正予算の内容

えん堤左岸上下流の護岸工の整備を推進します。



地獄平砂防えん堤（下流より撮影）



砂防えん堤周辺イメージ図

にこりがわ
濁川改修(大規模引堤)の概成
～国・県の連携による治水安全度の確保～
にこりがわ きたがた
阿賀野川水系阿賀川支川濁川(福島県喜多方市)

1. 事業の概要

1) 目的

阿賀野川水系阿賀川の支川濁川では、昭和42年8月洪水(羽越水害)により流域に甚大な被害が生じました。これを受け、福島県により流下能力不足を解消するため事業が進められてきました。

また、下流部である阿賀川との合流点処理については、阿賀川本川改修と一体となって実施する必要があることから、昭和63年から国により事業を実施してきました。

現在、上流の福島県施工による濁川改修と連携を図りながら濁川下流部の合流点処理を実施しており、バランスのとれた治水安全度を確保するものです。

2) 全体計画

築堤護岸、旧堤撤去、河床掘削 等

2. 事業の経緯

昭和63年度より用地補償等に着手し、平成6年度から築堤、橋梁の架替え等を実施、その後旧堤撤去及び河床掘削等を推進し、平成14年度補正予算にて概成予定です。

3. 平成14年度補正予算の内容

旧堤撤去、護岸工、河道掘削を実施します。



土石流が頻発する浦川において土砂流出防止を図る

浦川第7号砂防えん堤の完成 ～長野県北安曇郡小谷村浦川～

1. 事業の目的

1) 目的

浦川流域は、風吹岳、稗田山を水源地とする流域面積22km²の荒廃河川です。流域内は火山堆積物や来馬層からなる極めて脆弱な地質であるうえに明治44年に大災害を引き起こした「稗田山の崩壊」もあって、過去、幾多の土石流が発生し、多大な被害を与えてきました。また、平成7年7月出水では、大量の土砂を姫川本川に流出させて鉄道、道路や民家に被害をもたらしました。このような土砂流出による災害を防止するため、平成12年度に浦川第7号砂防えん堤に着手しました。

浦川上流域は、姫川の中でも特に土石流が頻発しており、今年度2回（4月24日、7月3日）発生していることから早期の完成を目指します。

2) 全体計画

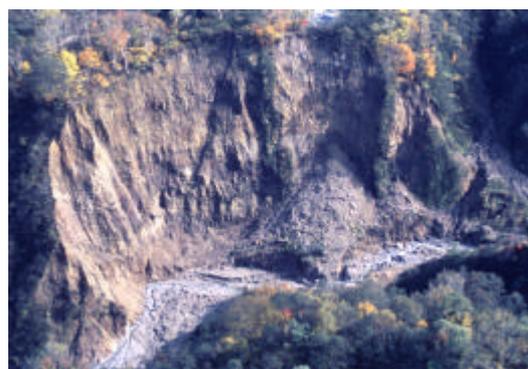
コンクリート重力式スリットえん堤 1基
H = 14.5 m、L = 108 m

2. 事業の経緯

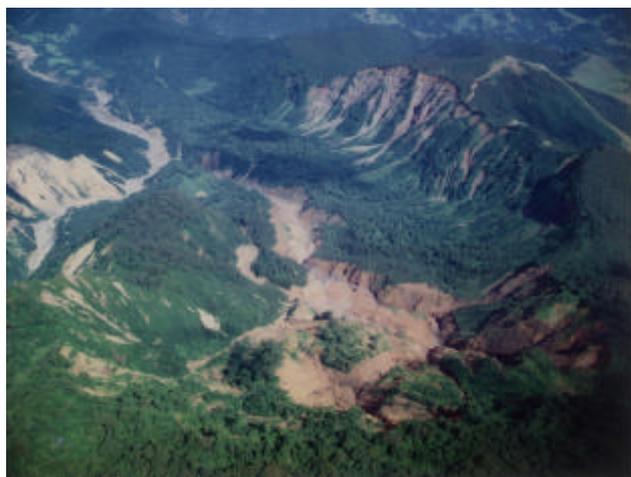
平成12年度 事業着手

3. 平成14年度補正予算の内容

えん堤を完成します。



浦川右岸の崩壊地



稗田山大崩壊地



7月3日土石流発生状況

溪流環境の再生を目指した砂防設備の整備

荒川流路工に魚道を整備 ～山形県にしおきたま西置賜郡おくに小国町こみさわ五味沢～

1. 事業の目的

1) 目的

荒川流路工は、荒川上流部の山形県小国町五味沢地先に位置し、この地区は、過去、昭和42年8月の羽越水害に代表されるような災害を受け、その復旧と再びこのような災害の発生を防ぐため、昭和62年度より、約1.8kmの区間において流路工に着手し平成8年度に完成しました。

完成した流路工には魚道が設置されていますが、最上流の五味沢砂防えん堤（昭和45年完成）に魚道が無いため、流路工をのぼってきた魚などの移動経路を遮断しています。

この既設砂防えん堤に魚が川を行き来できるように魚道を設置し、自然豊かな溪流環境の再生を目指します。

2) 全体計画

事業計画：魚道設置 1箇所

2. 事業の経緯

昭和62年度 荒川流路工着手

平成8年度 完成

3. 平成14年度補正予算の内容

五味沢砂防えん堤に全段面の階段式魚道を整備します。



魚道をのぼるイワナ（金目荒沢砂防えん堤の魚道）



落差により魚の移動が困難



魚道設置後の完成予想

敦賀港海岸（松原地区）の整備推進

敦賀港：福井県敦賀市

1. 事業の概要

松原海岸は「気比の松原」として日本三大松原の一つに数えられている国の名勝地であり、昔ながらの日本の海岸を代表する白砂青松の風景を呈しているが、昭和30年頃より海浜が侵食されはじめ、昭和52年頃までに最大約15mの汀線後退を見せており、早急な侵食対策が望まれていた。

2. 事業の経緯

平成6年度より「自然豊かな海と森の整備対策事業（白砂青松の創出）」として離岸堤、養浜等による面的防護工法により砂浜の復元を図ると共に、背後の国有林と一体となった利用しやすい海水浴場とすることを旨として整備を行っている。

また、当該地区は景勝地となっていることから「エコ・コースト事業」により風景を壊すことなく景観に配慮した整備を行っている。

3. 平成14年度補正予算の内容

補正予算により離岸堤を整備し、事業の推進を図ります。

離岸堤



松原地区全景

一般国道345号 ^{せなみ}瀬波バイパスの整備推進

^{むらかみ}新潟県村上市

1. 事業の概要

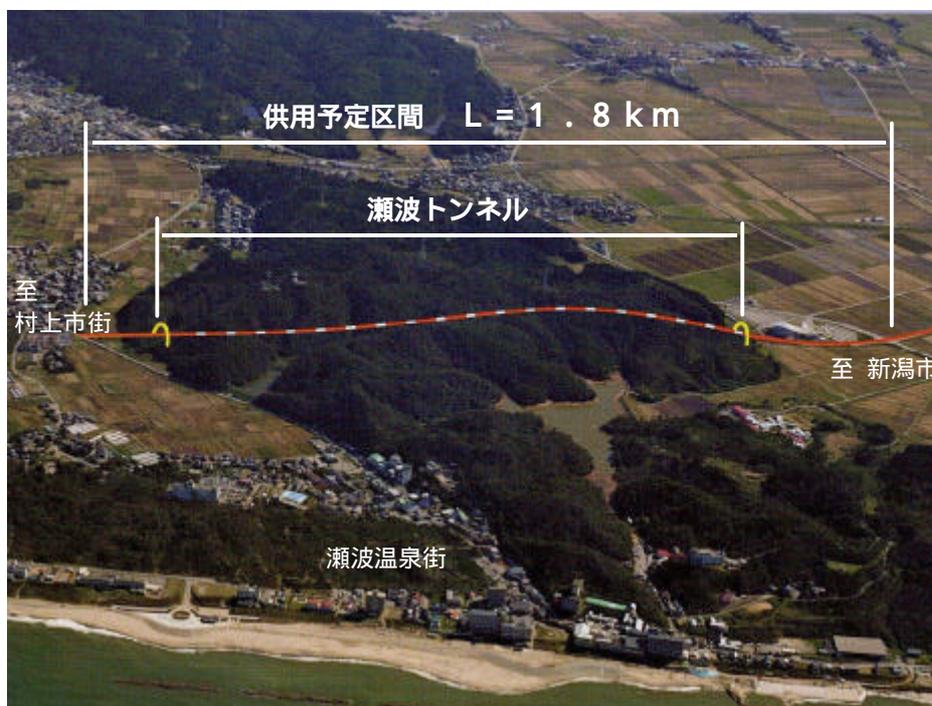
瀬波バイパスは、一般国道345号の村上市瀬波温泉地区および^{いわふね}岩船地区における幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保するとともに海水浴シーズンにおける瀬波温泉地区での渋滞緩和を目的とした延長約4.5kmの2車線道路です。

2. 事業の経緯

昭和58年度に事業着手し、これまでに村上市^{ようかいち}八日市から同市岩船までの約2.7kmを供用しました。平成14年度は、瀬波トンネルなどの道路改良工事を推進しています。

3. 平成14年度補正予算の概要

瀬波トンネルを含む約L=1.8kmの残る区間での舗装工事を行い、今年の海水浴シーズンまでに完成供用を目指します。



瀬波トンネルを含む供用予定区間の全景

一般国道 8 号 とやまたかおか 富山高岡バイパスの整備推進 (しもだ 下田交差点立体化) たかおか 富山県高岡市

1. 事業の概要

とやまたかおか 富山高岡バイパスは、一般国道 8 号の とやま 富山市から たかおか 高岡市間の交通混雑の解消を目的とした、とやま 富山県富山市 きんせんじ 金泉寺から たかおか 高岡市 よつや 四屋に至る延長約 24.8 km の道路です。

しもだ 下田交差点立体化は、主要渋滞ポイントである しもだ 下田交差点の交通混雑の解消を目的とした、たかおか 富山県高岡市 しもいしせ 下石瀬から のむら 同市野村間の延長約 1.1 km の事業です。

2. 事業の経緯

とやまたかおか 富山高岡バイパスは、昭和 41 年度に事業着手し、昭和 62 年度までに全線供用しています。

しもだ 下田交差点立体化は、平成 10 年度に事業着手し、同年度に用地買収、平成 12 年度に工事着手しています。

3. 平成 14 年度補正予算の内容

早期の渋滞緩和に向け下田立体化の工事を推進します。



渋滞する下田交差点
(富山側から金沢方向を望む)

臨港道路(東西線)の整備推進

～ 新湊大橋(仮称)～

伏木富山港：富山県新湊市

1. 事業の概要

伏木富山港新湊地区において分断されている港口部を結び、港湾貨物等の臨港交通の円滑な処理を図ります。

2. 事業の経緯

平成9年度より実施設計調査費が認められ、これまで現地交通量調査、交通需要予測、地盤調査、土質調査、予備設計等を実施してきました。平成13年7月に開催された北陸地方整備局事業評価監視委員会における「事業継続」との判断と付帯条件をふまえ、国ならびに富山県において橋梁部を含む全長3.6kmについて、経済性、利便性および技術的課題についての検討と港湾計画変更の手続き(平成14年7月変更)を進め、平成14年度現地着工の運びとなりました。

3. 平成14年度補正予算の内容

東西主塔の下部工施工のための仮設工事を行います。



伏木富山港(新湊地区)新湊大橋(仮称) イメージパース

魚津港拡張整備の推進

魚津港：富山県魚津市

1. 事業の概要

地方拠点都市地域の指定及び魚津市内の3漁協合併による利用形態の変化及び取扱貨物の増大に対応した、地域経済の発展・漁業振興拠点としての整備を図ります。

また、周辺は屋気楼のビューポイントであり良好な港湾環境を創出するため、あわせて環境緑地の整備も図ります。

2. 事業の経緯

平成6年度に事業着手以降、平成15年度の魚市場のオープンと、災害時における避難、応急対策に必要な要員、物資等の輸送を確保するための整備等を実施しています。

3. 平成14年度補正予算の内容

発注平準化措置としてゼロ国債により、護岸(防波)(2)及び緑地の整備推進を図ります。



魚津港航空写真(H14.5.2撮影)

主要地方道松任宇ノ気線の整備促進

石川県金沢市

1. 事業の概要

主要地方道松任宇ノ気線は、地域高規格道路「金沢外環状道路（海側幹線）」の側道部を構成する路線であり、金沢市街地の交通混雑の解消と広域交通ネットワークの強化を図ります。また、新県庁舎へのアクセス道路ならびに金沢市街地の形成、地域の活性化を支援します。

2. 事業の経緯

平成9年度に事業着手しており、平成14年8月に海側を全線暫定2車線供用しています。

3. 平成14年度補正予算の内容

山側の改良工事及び橋梁工事を促進し、早期完成供用を目指します。



金沢市福増町から終点方面を望む

航路泊地(-10m)の拡幅整備推進

金沢港：石川県金沢市

1. 事業の概要

近年、金沢港においては船舶の大型化が急速に進む一方、現状の航路幅が狭いため、特に冬季において大型船の操船が難しい状況となっています。そのため、航路を拡幅整備し、大型船舶の航行安全の確保を図ります。

2. 事業の経緯

平成12年度より大浜航路(-10m)の幅員をそれまでの200mから280mへ拡幅するための浚渫工事に着手し、平成16年度の完成を目指すものです。

3. 平成14年度補正予算の内容

航路拡幅部を浚渫し、同じく金沢港金石地区で整備を進めている廃棄物埋立護岸内に投入します。



旅客船ターミナルの整備推進

七尾港：石川県七尾市

1．事業の概要

観光やレクリエーションの拠点ならびに大規模地震発生時における物流機能の確保や住民の避難、緊急物資輸送に対処するために既存施設の耐震化を行い旅客船ターミナル(水深7.5m)として整備を行います。

2．事業の経緯

平成7年度に事業に着手し、整備しているものです。

3．平成14年度補正予算の内容

引き続き本体工などの整備促進を図り、早期の部分供用を目指します。



七尾港旅客船ターミナルイメージパース

多目的国際ターミナルの整備推進

～岸壁(-14m)(2号)～
敦賀港：福井県敦賀市

1．事業の概要

敦賀港への入港船舶の大型化と増大する港湾貨物に対処するため、鞠山南地区に大型岸壁を整備して港湾物流コストの削減を図ります。

2．事業の経緯

平成8年度より地盤改良工（サンドコンパクション工法）に着手、平成19年度の完成を目指すものです。

3．平成14年度補正予算の内容

基礎工及び堤体工（ケーソン製作）等を行い引き続き事業を推進します。



敦賀港(鞠山南地区)多目的国際ターミナルイメージパース

万代島再開発事業の推進

新潟港：新潟県新潟市

1．事業の目的

ウォーターフロントの特性を活かした多様で活発な人・モノ・情報の幅広い国際交流機能の充実を図るとともに、市街地に近接する特性を活かした、憩いと賑わいの空間形成機能の役割を果たすための整備を行います。

2．事業の経緯

昭和62～63年度の新潟港ポータルネッサンス21調査を受け、平成4年10月新潟県が万代島に国際交流拠点の整備方針を決定しました。

平成5年12月から港湾利用高度化促進事業を導入し、既存倉庫のクリアランス事業に着手。平成12年10月には、新潟県および民間事業者による建築工事が同時着工となり、平成13年4月には立体駐車場がオープンし、残るコンベンションセンター、ホテル等は、平成15年春のオープンを目指しているところです。

3．平成14年度補正予算の内容

万代島の再開発事業に関連する港湾緑地について、引き続き整備促進を図ります。



万代島地区の整備イメージパース

「健康ゾーン」概成に向けて えんこぎのりゅう 国営越後丘陵公園

1 国営越後丘陵公園の概要

(1) 全体計画

国営越後丘陵公園は、北陸の広域レクリエーション需要に対応するために設置された、本州日本海側で初めての国営公園です。

恵まれた自然環境や交通条件のもと、雪国の特性を活かし、「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境の保全に配慮しつつ整備・管理を行っています。

【位置、面積】 新潟県長岡市、約400ha

【全体構成】 「健康ゾーン」(約120ha)、「文化ゾーン」(約100ha)、「野生ゾーン」(約180ha)の3つのゾーン構成で整備

(2) 事業・開園の経緯

平成元年度に事業着手、平成10年7月に29haを、平成14年5月までに119.3haを開園しました。開園からの累計入園者は約113万人です。

平成13年度には、「花と緑の館」の休憩棟の整備に着手しました。

2 平成14年度の補正内容

「花と緑の館」休憩棟の整備推進を行い、「健康ゾーン」の概成を図ります。

「花と緑の館」は、入園者の休憩・サービスの拠点としてだけでなく、天候に左右されず四季を通じて花と緑を体験・学習できる空間としての利用効果が期待されます。



(左) 健康ゾーン 計画図

開園区域
花と緑の館

(下) 花と緑の館 完成予想図



千保川(小矢部川水系)における河川環境整備 千保川の環境整備事業(補助)の完成(富山県高岡市)

1. 事業の目的

高岡市の市街地を貫流する千保川沿川には、金屋町周辺の歴史的な街並みやおとぎの森公園が立地している。本事業は、街並みと一体となった修景護岸及び街並みと市郊外に立地しているおとぎの森公園を結ぶ遊歩道を整備し、親水性あふれる河川空間の創出を行うものとして、平成8年度より実施したものである。

2. 全体計画

整備延長 L = 2,500 m

整備内容 修景護岸工、歩道舗装工、木柵工、植栽工

3. 平成14年度補正予算の内容

歩道舗装工、木柵工、植栽工 L = 470 m



- 景観に配慮した修景護岸 -



- 千保川とおとぎの森公園 -



- 街並みと公園を結ぶ歩道 -

一般国道304号 ^{じょうはな}城端^{ひがしとなみ}拡幅の整備推進 富山県東砺波郡 ^{じょうはなまち}城端町

1. 事業の概要

一般国道304号は、石川県金沢市を起点とし、富山県東砺波郡城端町を經由し、東砺波郡 ^{たいらむら}平村に至る幹線道路です。

城端拡幅は、道路幅員が狭く一方通行となっている区間の解消やクランク状の変則交差点の改良を目的とし、城端町中心市街地の歴史的景観と調和する新しい街並の形成を支援する延長1.3kmの2車線拡幅事業です。

2. 事業の経緯

平成7年度に事業着手し、平成13年度までにL=約0.5kmを供用し、一方通行区間およびクランク状の変則交差点を解消しました。

平成14年度は、^{でまる}出丸地区の用地買収及び改良工事を推進しています。

3. 平成14年度補正予算の概要

用地買収を推進し、城端町^{でまる}出丸地区の用地買収を完了します。



供用済区間より出丸地区を望む

一般国道157号 伏見橋電線共同溝の着手 石川県金沢市

1. 事業の概要

伏見橋電線共同溝は、金沢市の中心市街地近傍の商業・住宅地域に位置し、小中学校が近接している横川地区において整備を図る延長約300mの電線共同溝事業です。

本事業は、既設の電線類を地中化し、電柱をなくすことによって、防災と都市景観を向上させるとともに、歩道等の段差、勾配などの解消によりバリアフリー化を推進して、美しく、快適で安心な街を整備します。

2. 事業の経緯

金沢駅から中心市街地において地中化事業を推進してきており、これまで国道157号では約3.5km整備をしてきたところです。

3. 平成14年度補正予算の内容

防災機能と都市景観を向上させるため、電力線及び通信線等の地中化に着手します。



地中化事業を整備する一般国道157号金沢市横川地区